



10月16日（金）立石山頂展望台において、愛媛県消防防災航空隊と上島町消防署の合同による消防訓練を行いました。

訓練は、滑降した負傷者を、消防隊員と航空隊員が連携して救助し、上空の防災ヘリに収容する想定で実施しました。消防署では、訓練を通じて航空隊との連携強化を図っており、今後継続してまいります。

立石山頂展望台 救急救助訓練

幼年消防クラブ防火パレード

11月9日から11月15日までの秋季全国火災予防運動に合わせ、上島町内の各地区において幼年消防クラブ員による防火パレードが行われました。クラブ員は拍子木を打ち鳴らしながら元気な声で「火の用心」と地域住民に対して火災予防を呼びかけました。



生名地区幼年消防クラブ



魚島地区幼年消防クラブ



岩城地区幼年消防クラブ



弓削地区幼年消防クラブ

令和2年10月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R2累計
火災	0	0	0	0	0	0	2
救急	23	9	3	2	0	37	339

（令和2年10月31日現在）

上島町消防署 ☎77-4118

かんきつの管理



かんきつの管理
冬の落葉果樹

12月からは温州みかんに続き中晩相類（愛媛果試第28号、はれひめ等）の収穫も始まります。天候や体調に注意して計画的な収穫作業を行ってください。

収穫の終わったものから順次マシン油乳剤の散布を行ってください。冬季のマシン油乳剤散布は翌年の6月位までミカンハダニの増殖を抑え、カイガラムシ類に安定した防除効果があります。散布時期は、収穫後の12月中旬から1月中旬までは、2月下旬から3月中旬です。2月の厳寒期を避けて散布してください。

冬季のハダニは、葉表よ

落葉果樹の剪定

りも葉裏に多いので散布にあたっては葉裏までかかるように丁寧に散布してください。

家庭果樹で落葉果樹を楽しまれる人も多いと思います。落葉果樹は品種により手間のかかるもの、雨に弱いものがあります。しかし、夏から秋にかけて収穫されるものがほとんどです。食卓を飾る果物を作ってみませんか。

12月になると落葉果樹はほぼ落葉し、剪定の時期となります。剪定を行わないと果実品質や樹勢が悪くなるだけでなく病害虫が発生しやすくなります。2月までは剪定を終わらせましょう。

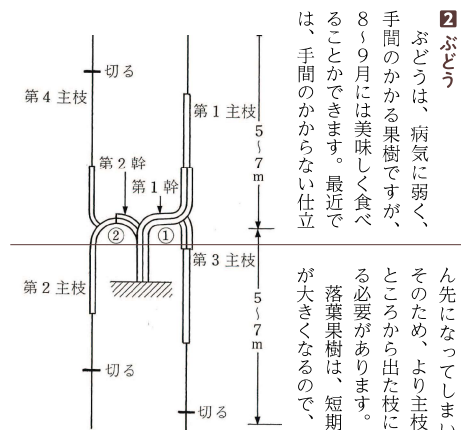


図2 ぶどうの仕立て方

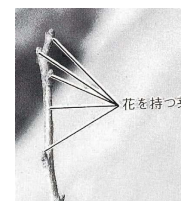


図1 枝先の花芽

付きません。日陰になると枝が枯れるので、枝の配置をまばらにして、樹の中心で日が当たるように間引き剪定してください。柿は樹高が高くなりやすいので、ある程度の高さで切り下げます。

キウイフルーツ

キウイは、前年の未結果芽から伸びた枝に花（実）が付きます（図3）。果実のなった部分からは枝が出ないので、続けて利用すると、実のなる部分がどんどん先になってしまいます。そのため、より主枝に近いところから出た枝に更新する必要があります。

落葉果樹は、短期間に樹が大きくなるので、ある程度



図3 キウイの剪定

度のスペースが必要です。狭い所に植えると剪定が難しくなり樹が暴れます。将来のことを考えて植えてください。